



知床ネイチャーキャンパス・オンライン ワイルドライフマネジメントシリーズ 希少種の保護管理

【各編のテーマとスケジュール】 Ⅲ～Ⅴは火曜 19時30分～21時

【共通講義】 講師：鳥居敏男さん（元環境省自然環境局長）

①「希少鳥類保護の法制度と事業」 各編の1週間前から7日間、限定配信動画を視聴いただきます

Ⅲ タンチョウ編 講師：長谷川 理さん（EnVision環境保全事務所）

⑥「タンチョウの生態と生息地保全」 7月29日

⑦「タンチョウの分散促進～現状と課題～」 8月19日

Ⅳ 海鳥編 講師：綿貫 豊さん（北海道大学名誉教授）

⑧「世界と日本における海鳥の現状(含む知床の海鳥の現状)」 9月9日

⑨「世界の海鳥を取り巻く諸問題：漁業、採取、プラスチック、移入動物、気候変動」 9月23日

⑩「わが国における海鳥保全(ウミガラスの保護増殖事業など)」 10月14日

※教科書：『海鳥と地球と人間』（築地書館2022年 2970円税込）をご購読の上、ご参加ください

Ⅴ 猛禽類編 講師：山崎 亨さん（アジア猛禽類ネットワーク会長）

⑪「クマタカ・イヌワシの生態と生息地保全」 11月11日

⑫「サンバの生態と繁殖地および越冬地の保全」 11月25日

※教科書『空と森の王者イヌワシとクマタカ』（サンライズ出版2008年 1760円税込）をご購読の上、ご参加ください

※諸般の事情により日程が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

【講師プロフィール】

鳥居敏男（とりいとしお）1984年、京都大学農学部卒業後、環境庁入庁。1999年から自然保護局野生生物課、2002年から東北海道地区自然保護事務所（当時）に勤務し知床世界自然遺産の推薦、登録に向け関係機関との調整に従事。生物多様性センター長、国立公園課長などを経て自然環境局長を最後に2021年退職。現在（一財）自然公園財団専務理事、当財団業務執行理事。



長谷川 理（はせがわおさむ）北海道大学大学院地球環境科学研究科博士課程修了・博士（地球環境科学）。エコ・ネットワークなどを経て特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所。学生時代からタンチョウを中心に希少鳥類の調査研究に従事。道内各地で野生動物に関するトークイベントや市民フォーラムなどの普及啓発活動を企画・開催。環境審議委員や大学講師を務める。



綿貫 豊（わたぬきゆたか）1959年長野県生まれ。1987年北海道大学大学院修了（農学博士）。国立極地研究所助手、北海道大学農学部准教授を経て2014年同学水産科学研究院教授。世界各地の孤島で海鳥の行動や生態を英国、米国、オーストラリアなどの研究者と共に研究。海洋環境の変動、漁業、海洋汚染、風力発電などが海鳥に与える影響について警鐘を鳴らしてきた。



山崎 亨（やまざきとおる）1954年、滋賀県生まれ。鳥取大学獣医学科、信州大学教育学部生態学研究室を経て、滋賀県職員として畜産行政や家畜伝染病予防業務に携わる一方、ライフワークとしてイヌワシやクマタカの生態研究と自然環境保全に取り組む。1995年から活動領域をアジアに拡大し、1999年にはアジア猛禽類ネットワークを設立。住民と一体となり猛禽類保護を進めている。



【注意事項】詳細は申込フォームに記載していますのでよくお読みください。講座映像に顔や氏名が映りますので、不都合のある方はご自身で対策をお取りください。映像削除は応じかねます。

【知床自然アカデミーと知床ネイチャーキャンパス（SNC）について】

野生動物と人間との関係は転換期にあります。人身事故や農林水産業被害、生態系への悪影響など、野生動物による様々な問題が全国各地で噴出し、その保護管理に携わる都道府県や市区町村の担当者は、十分な支援が得られず孤軍奮闘しています。多くの地域が専門的知識・経験を持つ人材（ワイルドライフマネジャー）を必要としています。当財団はこうした事態を予見・憂慮した知床の地元有志が中心となり、専門的人材養成を行う高等教育機関をつくる「知床自然大学院大学設立財団」として2013年に発足しました。世界自然遺産知床はその教育を行うための最適なフィールドであり、科学的野生生物保護管理の先進地です。「知床ネイチャーキャンパス」はこうした地の利を生かし、この分野の第一線で活躍されている専門家・大学教員・実務者が講師を務め、講義・現地実習・グループワークなどにより構成される教育プログラムとして2016年にスタートしました。本年4月、公益財団法人知床自然アカデミーとして新たなスタートを切り、「知床ネイチャーキャンパス」や、「実践 野生動物管理学」「希少種の保護管理」などさまざまなオンライン講座を通じて、充実した専門教育を提供して参ります。